

TPPPの 国会決議は、 次世代との 約束です



4月21日、「TPPから『食とくらし・いのち』を守る4.21宮城県民集会」
(反TPPネットワーク宮城・JAグループ宮城主催)

TPPより、震災からの復旧・復興を

環太平洋連携協定(TPP)交渉
について、4月24日の日米首脳会
談では、大筋合意に至らなかった
ものの、5月17・18日のアジア太
平洋経済協力会議(APEC)貿易
担当大臣会合をはさみ交渉官・閣
僚による会合が予定され予断を許
さない状況が続いております。

牛肉・豚肉の関税の引き下げ等
報道されておりますが、政府から
は食の安全等の交渉状況を含め何
も情報が開示されておられません。

また、東日本大震災から3年が
たっても、いまだ復興が道半ばで
あり、政府はTPPよりも、震災復
旧・復興の取り組みを優先するべ
きです。

TPP交渉の参加にあたり、米
や牛肉・豚肉などの農林水産分野
の重要5品目や、食の安全を守る
とした国会決議。それに加え国民
皆保険を守る等6項目を掲げた自
民党公約・決議は、極めて重い国
民との約束です。

安全・安心な「食」と「農」と「い
のち」を守り、次世代につなぐた
め、JAグループ宮城は、国会決議
の実現と、徹底した情報開示を政
府に強く求めていきます。